

## 平成 30 年度山梨県立図書館協力会活動報告

竹田 泉

私たち山梨県立図書館協力会は、案内・配架、代読、環境美化、修理、書庫開放、外国語絵本の読み聞かせなどのボランティア活動を通して利用者の皆様により良い環境やサービスを提供すべく、79名のメンバーで活動を開始しました。

今年度は今まで館長を務められた阿刀田高先生が名誉館長に就任され、新たに館長として金田一秀穂先生をお迎えしスタートしました。

首記の日常活動に加えて、いくつかの全体行事を行っており、それらについてご紹介します。

まず、5月22日に行われた金田一館長と協力員との集いでは、50年前に現在の北杜市の別荘で過ごされた際の思い出や、小学校時代の愛読書は時刻表で、紙上にて全国旅行を楽しんだエピソードをはじめ、県立図書館の使命に至るまで巧みな話術に一同魅了されました。

11月18日には、阿刀田名誉館長の提唱で始まった、やまなし読書推進事業の一環として開催している「贈りたい本の市」も回を重ねて第5回となり、県立図書館をはじめ、県内の公立図書館利用者から約660冊を提供していただきました。

今回はベジフードフェスに共催し、第1回以来となる屋外、よっちゃばれ広場での開催となつて、多くの来訪者があり活気のあるものとなりました。売上金は従前の山日YBS厚生文化事業団、山梨県共同募金会に加え、地元へ還元したいという思いから、フードバンク山梨の三者に寄付しました。

年が明け3月7日には、自主研修として昨年 Library of the year を受賞された甲州市立勝沼図書館見学会を実施しました。現地ではぶどう・ワインに関する蔵書の展示にとどまらず、アニメーション活動をはじめとする地域に根差した活動をされており、職員の方々の熱意に大変感銘を受け、今後の協力会の活動に生かしたいと考えました。

このように、一年間充実した活動をすることができました。私たち協力員一同も県民共有の財産である山梨県立図書館を快適に利用していただければ一助となるべく、今後も活動を継続して参ります。